

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	キャリア実践Ⅱ(設計)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	平和 千晶	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として、高槻会高井病院、大阪市立大学医学部付属病院、馬場記念病院において、循環器業務を主に計20年間従事した。			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士の役割を理解し、自分が今後どのような経歴を積み上げていくかを考える力をつける。 自分の将来の理想像をはっきりさせ、必要な経験・知識やスキルを把握し、具体的な行動まで落とし込む。						
《成績評価の方法と基準》						
提出物(レポートなど)70%、出席評価点20%、平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書なし 当日資料配布						
《授業外における学習方法》						
①日本臨床工学技士会のホームページを閲覧し、臨床工学技士の役割について理解を深める。 ②必要に応じて関連資格をインターネットで検索し、自身の目標について考える。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床工学技士の役割は多岐にわたり、複雑です。視野を広く持って将来のキャリアプランを考えましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臨床工学技士の業務が説明できるようになる。	配布プリント		・シラバスを読み、講義内容を理解しておく。
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士の業務と業務指針について学ぶ。			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臨床工学技士に求められる技術について考えられるようになる。	配布プリント		・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	優秀演題選考会 聴講			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臨床工学技士の業務が説明できるようになる。	配布プリント		・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士の業務と業務指針について学ぶ。 タスクシフトも視野に、将来の業務についても考える。			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	臨床工学技士の業務に興味がもてるようになる。	配布プリント		・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士の業務と業務指針について学ぶ。 タスクシフトも視野に、将来の業務についても考える。			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	身につけたい技術について考えることができるようになる。	配布プリント		・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士に必要な技術について考える。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	必要な技術をどのように身につけるか考えることができるようになる。	配布プリント	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	技術の取得方法について考える。 技士会、学会の活用等について学ぶ。		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	技術取得の計画を立てることができるようになる。	配布プリント	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	達成可能な目標を設定し、具体的な計画に落とし込む。		
第8回	講義 形式	授業を通じての到達目標	技術取得の計画を立てることができるようになる。	配布プリント	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	講演聴講		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	キャリアラダーについて理解できるようになる。	配布プリント	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医療従事者のキャリアラダーについて。		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	キャリアラダーについて説明できるようになる。	配布プリント	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士のキャリアラダーについて。 専門臨床工学技士、認定臨床工学技士について。		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	自身のキャリアラダーを考えることができるようになる。	配布プリント	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士のキャリアラダーについて。 関連する資格、認定について。		
第12回	講義 形式	授業を通じての到達目標	自身のキャリアラダーを考えることができるようになる。	配布プリント	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	講演聴講		
第13回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	自身の将来像を考えることができるようになる。	配布プリント	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	自身の将来像を考える。		
第14回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	自身の将来像を考えることができるようになる。	配布プリント	・次回の授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	自身の将来像を考え、具体的なプランを立てる。		
第15回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	まとめ	講義ノート 配布プリント	・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	まとめ		